



日本音楽集団
PRO MUSICA NIPPONIA

第144回定期演奏会

笛と打楽器
の
響演

企画・構成 西川啓光

1996年9月10日(火) 午後6時30分開演
津田ホール

主催 ● 日本音楽集団
助成 ● 文化庁・日本芸術文化振興会
舞台芸術振興事業
(財)花王芸術文化財団



Arts Plan 21



芸術文化振興基金

プログラム

笛と打楽器の響演

1. 「楽市七座」 作曲／和田 薫

笛◎藤崎重康 打楽器1◎仙堂新太郎 打楽器2◎西川啓光
洋打楽器1◎山田 徹(客演) 洋打楽器2◎立枝恵子
洋打楽器3◎黒坂 昇 洋打楽器4◎田村拓男

〈使用楽器〉 打楽器1 = キン・拍子木・笏拍子・ビンザサラ・本坪鈴・豆太鼓2
縮太鼓・楽太鼓

打楽器2 = 風鈴・鈴・松虫・当り鉦・大太鼓

洋打楽器1 = フレクサトーン・カウベル・アゴゴ・ウッドインボード
タンバリン・ボンゴ・ティンパレス・トムトム(16')

洋打楽器2 = シェルチャイム・タムタム・ギロ・木魚・シロホオン
トムトム(10' 12')・バスドラム

洋打楽器3 = シェルチャイム・タムタム(中)・クラベス・トムトム
(8' 15' 18')

洋打楽器4 = ウィンドチャイム・タムタム(小)・ログドラム・マリンバ
コンガ

2. 「マリンバ・スピリチュアル」 作曲／三木 稔

マリンバ◎臼杵美智代
打楽器1◎仙堂新太郎 打楽器2◎高橋明邦 打楽器3◎西川啓光

〈使用楽器〉 打楽器1 = オルゴール・大拍子・木鉦(4)・当り鉦(2)

打楽器2 = 木魚(3)・縮太鼓(2)・キン(3)

打楽器3 = 大太鼓・魚板(3)・ドラ(2)・タムタム

3. 「秋風にのせて」(委嘱・初演) 作曲／藤舎呂船

笛◎望月太八次郎 打楽器1◎尾崎太一 打楽器2◎望月太喜之丞
打楽器3◎臼杵美智代 打楽器4◎杉浦邦雄 打楽器5◎黒坂 昇
細棹三味線◎簗田司郎 太棹三味線◎田中悠美子

4. 「打楽三章」 作曲／野田暉行

笛◎西川浩平 鼓◎尾崎太一 大鼓◎杉浦邦雄 大太鼓◎望月太喜之丞
小物セット◎黒坂 昇 締桶セット◎西川啓光 マリンバ◎立枝恵子
指揮◎稲田 康

笛と邦楽打楽器、西洋打楽器のための「樂市七座」

和田 薫

この作品は、1988年にアメリカのミシガン大学音楽協会の委嘱により作曲され、同年、日本音楽集団のアメリカ公演の一環として、ミシガン・パーカッション・アンサンブルとの共演で初演されました。曲は、笛の独奏を含む二人の邦楽打楽器と四人の西洋打楽器のために書かれ、5つの部分により構成されています。

当時、私はヨーロッパに居住していたのですが、同アンサンブルの主宰者で親友でもあるマイケル・ユドウ氏より、今度日本から来るグループのために共演できる作品を書いてくれないか、と話をいただきました。実は、これが私と日本音楽集団との初めての出会いであり、また邦楽器を含んだ最初の作品を書くきっかけともなったのです。

日本人の日本人による音楽、これを当時オーケストラ作品において実践していた私は、この作品で邦楽器、つまり日本の表現方法において西洋との融合・共鳴を試みました。そういう意味では、アメリカ・日本の各地で演奏者・聴衆に共鳴理解され、また今回、日本音楽集団の公演で再演される運びとなったことは、作曲家として大きな喜びを感じると共に、演奏者と多くの聴衆の皆さんにこの作品が共感されることを願って止みません。

(作曲家)

マリンバ・スピリチュアル

三木 稔

日本音楽集団がスタートした4年後の1968年に《マリンバの時》、二十絃箏元年の69年に《マリンバとオーケストラのための協奏曲》を安倍圭子さんのために書いた。幸いどちらも欧米の多くのソリストたちが演奏し、度々国際コンクールの課題曲として取り上げられている。安倍さんからは第三の曲をずっと求められていたが、集団やオペラにも多くの時間を割かねばならなくなっていた私は15年もそれに応えられなかった。

1984年、安倍さんがアムステルダム・コンサート・ヘボウの打楽器奏者3人と共演するチャンス、何とか時間を見つけた。《マリンバ・スピリチュアル》は、当時アフリカを襲った深刻な飢餓へのいたたまれぬ思いが創作の気持ちを駆り立てた。戦中を知る私には黙視できないのだ。前半、祈るマリンバの内向する響きに、3人の打楽器は最初金属、次いで木の楽器でシリアスに和し、不幸な人たちの魂に奮い立ってほしいと全精力を傾ける後半に繋げた。秩父屋台囃子の基本リズムをこの後半にも援用したが、《巨火》の第三部では比較的自由に演奏されるそのリズムも、ここではカデンツァも含めて妥協なしの精密な音符に書き込められている。打楽器の選択は和洋エスニックいずれでも自由だが、外国グループだけの上演が、数年前に1000回を超え、CDも10種類以上発売されている現状に驚いている。

(作曲家)

秋風にのせて

藤舎呂船

『音楽』の中には、民族やことばの違い、又時代の隔りを越えて、なぐさめや喜び、感動等を与えてくれる純音楽作品の名作の数々があります。その偉大さを考えますと、驚愕と安堵とに大いに心をはげまされます。その素晴らしい普遍性を頂点の光明と仰いで、私は、まずは小さな喜びの一舞台の成立を目標としたいと思っているこの頃です。自家の家業である邦楽の、身近にあった和楽器と、その音楽とが、日本の中だけでしか通用しないものでなく、世界的な広がりや、普遍性のあるものであってほしいという願望を持っていた自分の若い時代——その方向性へむけてすでに実際に音楽活動を始めていた日本音楽集団……現在に至るまで理想をかかげ続け、数々の作品を産み出し普及に努め続ける日本音楽集団……そのコンサートシリーズ中の“笛と打楽器”特集公演に加えさせて頂き、急に自由な広場へ飛出してゆくような気分を味わっています。ささやかな一場面、皆様におつき合い頂きたく思っております。

(作曲家)

打楽三章

野田暉行

1982年、国立劇場の委嘱により作曲、同年10月国立劇場小劇場において初演された。その後、再演に際し、一部、若干短くする改定を行い現行版となった。

全曲は、連続して演奏される急—緩—急の3楽章よりなり、確定的に記譜された部分と、各奏者の“間”を重視する不確定な部分の交代によって構成されている。伝統的な奏法を多く取り入れているが、それらは各シチュエーションとフレーズに従って多様に変化し、古典とは異なる様相を呈するものとなっている。

この曲の演奏には、奏者が掛け声を入れるものと、掛け声なしで行うものとの2種のヴァリエーションがあり、初演は二夜にわたって行われたが、今夜は掛け声を入れる版により演奏される。

初演で名演をして下さった西川啓光氏が、今回、「決定版を作りたい」と言って取り上げて下さった。氏と集団の諸氏に深く感謝する次第である。

(作曲家)

「楽市七座」客演

やまだ とおる
山田 徹 (Percussion) プロフィール

1957年、神奈川県生まれ

桐朋学園大学オーケストラ研究生、特別研究生を修了。打楽器を小林美隆・有賀誠門・安倍圭子の各氏に師事。フリーの打楽器奏者としてオーケストラ等の活動を経て、現在新日本フィルハーモニー交響楽団打楽器奏者。

ポーロウニアパーカッショングループ、メンバー。

スタッフ◎舞台制作=奈良音楽事務所

舞台スタッフ=(株)プロフェッショナル・パーカッション

日本音楽集団最近のおもな活動(1996年6月より)

- | | | |
|-------------------------------|----------------------------|----------------------|
| 6月1日(土) | 田園調布双葉中学校音楽鑑賞教室 | |
| 6月7日(金) | 東洋英和女学院中等部音楽鑑賞教室 | |
| 6月9日(日) | 新潟公演 | |
| 6月10日(月) | 東京子ども音楽フェスティバル「竹取物語」 | 大田区民プラザホール |
| 6月12日(水) | 福井県学校公演 | 鯖江市文化センター・能楽の里文化交流会館 |
| 6月18日(火)~21日(金)、24日(月)~26日(水) | | 長崎県巡回学校公演 |
| 6月29日(土) | 東京子ども音楽フェスティバル「八郎物語」 | 練馬文化センター小ホール |
| 7月3日(水) | 東京子ども音楽フェスティバル「ニポポゆめの旅」 | 大田区民プラザホール |
| 7月7日(日) | 横浜市緑区芸術祭96 | 緑区公会堂 |
| 7月10日(水) | 第143回定期演奏会~海外からの作品特集そのIV | バリオホール |
| 7月19日(金) | 東京音楽フェスティバル「ニポポゆめの旅」 | 品川きゅりあん |
| 7月21日(日)~26日(金) | 日韓ワールドカップ共催記念演奏会(第22次海外公演) | 韓国国立中央劇場特設舞台 |
| 9月10日(火) | 第144回定期演奏会~打楽器作品特集 | 津田ホール |

日本音楽集団今後の主な予定

- 9月12日(木) 鹿児島市子ども劇場 鹿児島市民文化ホール第二ホール
- 9月13日(金) 延岡おやこ劇場 延岡総合文化センター大ホール
- 9月14日(土) みやこのじょう子ども劇場 都城市民会館
- 9月20日(金)、21日(土) アジア・アートフェスティバル(芸術祭・文化庁主催公演)のオーケストラ・アジアに参加
国立劇場大ホール(21日は昼夜2回公演)
- 9月23日(月) 岐阜移動芸術祭のオーケストラ・アジアに参加 岐阜サランカホール
- 10月2日(水) 伏見親と子の劇場 京都・呉竹文化センター大ホール
- 10月3日(木) 豊中おやこ劇場 大阪・豊中市民会館大ホール
- 10月8日(火) とうきょうエキコン 東京駅丸の内北口ドーム
- 10月8日(火)～11日(金) 成田市巡回学校公演
- 10月14日(月)～18日(金) 山形県巡回学校公演
- 11月2日(土) 入間市・私立東野高校音楽鑑賞教室
- 11月25日(月) オーケストラと和楽器の競演Ⅶ 板橋区立文化会館大ホール
- 11月28日(木) 栃木県立烏山高校音楽鑑賞教室
- 12月4日(木)～15日(日) オーケストラ・アジア日本・中国ツアー
- 4日(水) 大阪公演/ザ・シンフォニーホール
- 6日(金) 富山公演/富山シンフォニーホール
- 7日(土) 神戸公演/神戸文化ホール
- 8日(日) 福岡公演/アクロス福岡シンフォニーホール
- 10日(火) 仙台公演/仙台市泉文化創造センター
- 11日(水) 東京公演/東京芸術劇場
- 14日(土)、15日(日) 北京公演/北京音楽庁
- 12月18日(水) 川口女子高校音楽鑑賞教室 川口りりあ大ホール
- 12月21日(土) 杉並親子劇場 杉並公会堂
- 1997年
- 1月28日(火) 第145回定期演奏会～三味線音楽特集 津田ホール

日本音楽集団 〒151 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302 TEL:03-3378-4741 FAX:03-3376-2033

伝統楽器を先進の技術で磨きあげた、 パールのオリジナル和太鼓。

あらゆる打楽器をプロデュースするパールが自信をもっておすすめする和太鼓の各モデル。より多くの方々に親しまれるよう、パール独自の手法でつくりあげた「集成けやき」の大太鼓をはじめ、締太鼓、平太鼓など、いずれも鳴りの良さを使いやすさを追求し、お求めやすい価格でおとどけます。



Pearl

- 大太鼓(宮太鼓)
*集成けやき材を採用したシリーズ
(ヤグラ台は別売)
- | | | |
|--------|------------|----------|
| WOM-14 | 1尺4寸(42cm) | ¥280,000 |
| WOM-15 | 1尺5寸(45cm) | ¥350,000 |
| WOM-16 | 1尺6寸(48cm) | ¥420,000 |
| WOM-17 | 1尺7寸(51cm) | ¥510,000 |
| WOM-18 | 1尺8寸(54cm) | ¥650,000 |

パール楽器製造株式会社 〒276 千葉県八千代市八千代台西10-2-1

●パール教育打楽器総合カタログご希望の方は、切手300円分を同封して本社企画課「教育カタログ希望P係」までどうぞ。●広告表示価格には、消費税は含まれておりません。

●お知らせ……NHK・FM「邦楽百番」に出演●

11月30日(土) AM11:00~11:50に放送予定の「邦楽百番」に集団が出演します。

曲目は長沢勝俊作曲の組曲「人形風土記」と、今井重幸作曲の「傀儡曼陀羅(くぐつまんだら)」です。

日本の佳き伝統とともに。



- 歌舞伎座・国立劇場御用達
- 太鼓鳴物道具一式

創業文久元年 / 宮内庁御用達
 株式会社 宮本卯之助商店
 本店 ● 東京都台東区浅草六丁目一番十五号
 〒111 電話 (03) 3874-1423 代
 FAX (03) 3875-1602
 西浅草店 ● 東京都台東区西浅草二丁目一番一号
 〒111 電話 (03) 3844-1242 代
 FAX (03) 3842-1673
 スタジオ ● 東京都台東区浅草六丁目二番五号
 〒111 電話 (03) 5603-1166 代

※詳細カタログご進呈いたします。



アイ・エム・エス ● 楽器リース ● 保管 ● 移動 ● ステージ・スタッフ派遣

〒167 東京都杉並区上荻 2-3-4
 ゆうでんビル
 PHONE. 03-3397-2292
 FAX. 03-3397-7728

箏

二十絃箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現するために、楽器の本質を追求した箏

日本音楽集団推薦

琴光堂和楽器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL(3792)8481 FAX(3792)8437